

令和2年度第1回総合教育会議会議録

令和2年塩尻市教育委員会第1回総合教育会議が、令和2年9月25日、午後3時00分、塩尻市保健福祉センター3階市民交流室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 市長挨拶

3 教育長挨拶

4 議 事

議事第1号 教育の条件整備等について

- (1) GIGAスクール構想の実現に向けて
- (2) 自然博物館の今後について

5 その他

6 閉 会

○ 出席者

市 長	小 口 利 幸			
教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄	
委 員	嶋 崎 栄 子	委 員	石 井	勉
委 員	小 林 夕 香			

○ 欠席者

なし

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	大野田一雄	市民交流センター・生涯学習部長	赤 津 光 晴	
こども教育部次長 (教育総務課長)	太 田 文 和	市民交流センター・生涯学習部次長(社会教育課長)	胡 桃 慶 三	
こども課長	花 岡 昇	平出博物館長	小 松 学	
家庭支援課長	植 野 敦 司	スポーツ推進課長(新体育館建設建設プロジェクトリーダー)	田 下 高 秋	
子育て支援センター所長	羽 多 野 紀 子	男女共同参画・若者サポート課長	小 松 一 之	

主任学校教育指導員

黒澤増博

交流支援課長
図書館長

成田輝美
上條史生

○ 事務局出席者

教育企画係長

佐藤智樹

1 開会

大野田子ども教育部長 定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第1回総合教育会議を開会いたします。私は、本日進行を務めさせていただきます、子ども教育部長の大野田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは初めに、小口市長から御挨拶をお願いいたします。

2 市長挨拶

小口市長 改めまして、こんにちは。定例の総合教育会議ということで、ありがとうございます。あまり人相の分からないマスクをかけながらの窮屈な状態での会議ですが、もうしばし日伺ってのことではないかと思えます。また、おとといまで、ほとんど裸で家では行動しておりましたが、今は、朝はちょっとストーブつけないと寒いぐらいの急激な変化になりまして、どこが狂っているのか分からない状況であります。そんな中でございますが、行政と教育行政、一体でございますので、今日はテーマが、GIGAスクール、自然博物館という2点です。先ほどちょうど、今月の記者会見がありまして、自然博物館の今後についてという話がありましたので、よりタイムリーなテーマかと思えます。短時間でございますが、よろしくお願いいたします。

3 教育長挨拶

大野田子ども教育部長 続きまして、教育長から御挨拶をお願いします。

赤羽教育長 皆さんこんにちは。本日の会議の趣旨はここに書かれていますとおり、教育を行うための諸条件の整理、そして市の特色に応じた教育、それから学術、文化の振興についてということ協議するものであります。テーマは今市長がおっしゃったとおり2つあって、2つ目のほうは、私、自然博物館、今後どこにあればいいのかなということ、去年からずっと考えております。本日の会議をとっても楽しみにしておりました。ぜひ大きな夢を語っていただき、それが、実現につなげていけるようなものになれば、なおのこといいのかなということ、強く願っております。よろしくお願いいたします。

4 議事

○議事第1号 教育の条件整備等について

大野田子ども教育部長 それでは、議事に入ります。

議事第1号、教育の条件整備等についてを議題といたします。資料を御覧ください。事務局に説明を求めます。

太田教育総務課長 よろしく申し上げます。議事第1号、教育の条件整備等について。趣旨でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1号の規定に基づき、教育を行うための諸条件の整備、その他市の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため、重点的に講ずべき施策について御協議いただくものでございます。以上です。

(1) G I G Aスクール構想の実現について

大野田子ども教育部長 それではまず、G I G Aスクール構想の実現につきまして、協議をいたします。なお、この件につきましては15分間とさせていただきますので、お願いいたします。事務局から引き続き説明を求めます。

太田教育総務課長 教育総務課長の太田と申します。よろしくお願ひいたします。それではお手元の資料No.1をお願いいたします。

国が推進しておりますG I G Aスクール構想でございますが、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワーク環境を整備し、子どもたち一人一人の資質、能力を一層確実に育成できる教育環境を実現させることを目的としております。これまでのICT教育環境整備をさらに加速させるG I G Aスクール構想により、今後の本市の学校教育の情報化推進に関する施策を計画的に実現していくために、現在の取組状況の報告と、今後の方向性について御協議いただければと思っております。

次に、実施事業等につきましては、本市では現在、学校内の高速大容量の通信ネットワーク環境の整備と併せて、児童、生徒1人1台のタブレット端末整備を行っており、ネットワーク整備工事は今年度中に、タブレット端末は11月頃から順次導入できる見込みとなっております。また今後、重要となる機器の活用方法等について、G I G Aスクールサポーター等によるICT教育の環境整備や、授業支援、授業等で活用するクラウド型の学習支援ツールの導入や、通信環境が整備されていない家庭に対し、モバイルWi-Fiルーターの貸与など、ハード事業、ソフト事業を一体的に整備し、学校におけるICT教育環境の充実に向けて取り組んでおります。なお、情報通信ネットワーク整備事業の事業費総額でございますが、現在5億3,800万円余となっております。

おめくりいただき、2ページをお願いいたします。少子高齢化が進む中で、本市ではICT人材育成事業において、情報活用能力を身につけるための取組を進めております。また、1人1台の端末の活用について、3ステップでの発展活用を想定しており、ステップ1では、“すぐにも” “どの教科でも” “誰でも” 活かせる1人1台端末として、調べ学習やプレゼンテーションへの活用などを。ステップ2では、教科の学びを深める、教科の学びの本質に迫るとして、各教科においてデジタル教材等を活用した学びの充実を。3ページになりますが、ステップ3では、教科の学びをつなぐ、社会課題の解決や、一人一人の夢の実現に活かすとして、クラウドサービスの活用など、段階的に活用力や応用力を伸ばしていく考えでございます。

また今後、長期間の休校等の緊急時を想定し、家庭におけるタブレット端末の活用による学習教材の配信や、オンライン授業の実施などに取り組んでまいります。

次に5ページをお願いいたします。本市の学校情報化推進計画(案)になります。ICT活用目標につきましては、2022年度には、各学年において各クラス1日3回から4回以上の活用を進めてまいります。指導体制の強化等につきましては、G I G Aスクールサポーター

を 2020 年度から 5 校に 1 人配置し、教員に対する利用支援や環境整備、校内研修等のサポートを行ってまいります。

次に 6 ページをお願いいたします。(3) ですが、学習者用コンピューター配備計画につきましては、小学校に iPad を、また中学校に Chrome を配備することとしており、本年度中に 1 人 1 台の端末整備を予定しているところでございます。

次に、大規模での共同調達実施計画につきましては、長野県市町村自治振興組合が進めまますタブレット端末共同調達に参加し、価格競争入札により、7 月に入札を行っております。端末につきましては、先ほど申し上げたとおり、11 月頃から順次導入する予定となっております。なお、本日御協議いただいた内容を反映させた塩尻市学校情報化推進計画について、国へ提出するとともに、市ホームページ等を活用し、公表してまいりたいと考えております。また、本日から市内中学校で文化祭が開催されております。三密回避のため、保護者の来場を制限しており、生徒の活動の様子を、YouTube によるライブ配信を行っております。学校においては、このように少しずつ情報機器の活用が広がってきている状況でございます。説明は以上です。

大野田子ども教育部長 ただいま事務局から説明がございましたが、市長また教育委員の皆様から御意見を伺いたいと思います。どうぞ御意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

石井委員 教育委員の石井です。よろしくお願いいたします。資料御説明をいただきまして、進め方や、元々計画のあった G I G A スクールですけれども、今回の感染症でかなり加速をしていると、そういったことが背景にあります。この計画案でおおよそのものは網羅というか、納得できる状況に出来上がってきているのではないかと、そんなふうに説明を聞いて感じました。

私、商工業といいますか、自営業を営んでいるわけでございますけれども、やはり今回の感染症の関係で、大きく変化をいたしました。いずれこういう変化が起こるのだろうと感じていたのですけれども、10 年ぐらいは一気に時代が進んだのかな、10 年後の世界がいきなり訪れたのかなと、そんな印象を受けております。この波に逆らえない、飲み込まれてしまうような様子を目の前で見たケースもありますし、一体これから先どうやって共存していくのかということ、具体策を見出さなければいけないわけですが、そういった中、念頭に置くべきことは、G I G A スクール構想の目的、教育環境を実現させることが目的だという御説明がありましたが、その行きつく先は、やはり次世代を生き抜く人材を育成することだろうと思います。必要な能力を備えた人材を育てること、これが G I G A スクールの目指すところだと思います。そこから先は、その人材が学んできたことを、自分ならこうする、こう生きていくと主体的に考えることができる、そんな世界を目指してほしいと思っております。以上です。

大野田子ども教育部長 どうぞ御自由に御意見ををお願いいたします。

碓井教育長職務代理人 碓井です。よろしくお願いいたします。今、石井委員のほうから、コロナで G I G A スクールが大分加速されたというお話がありました。私は、義務教育の期間は、学校に登校して級友と共に集団で学びながら学力や社会性を身につけていくことが原則だと考えています。そういう立場ですが、その中で、I C T を活用した学びを進めていくことは、石井委員のほうからもありましたけれど、学力とか、特に自分で学んでいく力を今より一層

高めたり、これからの社会で生きていく人を育てたりしていく上で、とても大事だと思います。

少し具体的に申し上げるといろいろありますけれども、子どもの立場から考えると、一人一人に応じた学習が今より充実する、デジタル教科書も使えるなど。保護者の立場から考えていくと、さっき事務局からもありましたけれども、学校の様子をリアルタイムに確認できるなど。それから先生の立場から言うと、子どもの状況を一目でつかむことができる、出張が減らせるなど。そんなことがあるかもしれません。社会の現状からいくと、デジタル化というのはさらに進んでいく状況だと思います。塩尻市は今までもこういうことを大事にしている、そういう経緯もありますので、可能な限り迅速に積極的に、推進していくことが大事ではないかと思っております。

石井委員 今の確井教育長職務代理者の話の中から、今度はどういったことが想像されるかなと思うのですが、一人一人に合わせた進め方ができるということは、逆から考えるとバラバラになってくるといふふうにも見えるのかなと思うのですよね。例えば、同じ年齢でも進捗に差が出てくると、今までは同じ学年でくれたものが、そうではなくなってくる。それは歓迎する面もあるのでしょうかけれども、果たしてどうやって整理していくのかなというふうにも思うわけですね。進めるものはどんどん進んでいってもいいかなと、それは得ていっているものを伸ばしていくということにもなるでしょうし。ただ、本来その時点で必要なものが、どのくらい身についてくるのかなという見方も知っていかなければいけないと思います。あまり差が開きすぎると、どこでどういう基準をつくっていいのかということも分からなくなってしまいます。例えば、極端な話ですけど、18歳で成人というものも、果たしてラインが引けるのかどうかという見方も出てきってしまうかなという、そんな心配も出てくるかと思えます。なので、どういうステップにまとめていくのか、その中で伸ばせるものを伸ばしていく、そういったことができるのかどうかというの、考えながらでしょうけれども形にしていかななくてはいけないのかなと。できるのかなというところもあるので、どうですか、そういったところは。

小口市長 今、石井委員が言われたとおりで、懸念する、心配するときりがありませんよね。今、確井教育長職務代理者が言われた集団形成能力が小学校低学年、私はそれが最たるステージで、勉強なんか、後で取り返す気のある子は取り返せばいいと思っているのだけれど。石井委員の言う、いわゆる不幸の世界に入りやすい、簡単にに入れてしまうと。怠けようとしたら、怠けられてしまうのだよね、言葉は悪いけれど。飛び級制度のない日本においては、これにつけては芳しくない、そういうことですよ。まともに合わせていたら、ゼロで行くと国力として負けてしまうと思うのだよね。なので、心配は山ほどあるのだけれど、もう方向として、さっき石井委員が言ったとおり、コロナのためにできたわけではなくて、元々いいことをやろうとする延長上がちょっと早まってきたと。金をくれるので、使わない手はないと、これもまたロジックなのだよね。極力、教育委員会のそれぞれの後ろにいる皆さんも、チェック機能を果たしながら、よりよいリアリティのある世界、例えば、凶鑑なんかを上げればここで見られるわけですよ。記録も今、媒体をどうするかという話もあったけれど。だから怠けようすると怠けられてしまう。放っておけば教育格差が広がるでしょう。放っておかなくても広がるのかな。私たちの頃も、格差はあったのだよね。家へ帰って勉強しない子は、やはり学習が遅れます。そういうことなので、あまり心配しても仕方ないから、

前向きに使うということでしょうね。私、最近全然スマホにもついていけないので、いまだにガラケー使っているのはそういうわけですけども。そういう世界なので。本当は、アメリカ的に飛び級もあって、優秀な子がどんどん伸びて行って、国のリーダーになるということが、社会としていわゆるアメリカンドリームが定着している国、日本はそういう国ではないので、そのバランスの危惧もありますけれど。私が危惧したって、何も変わらないし、お二人の意見を聞いていて、大賛成ですけども。

ただ、一つだけ、その中で一番私が心配なのは、スマホそのものもそうなのだけれど、その中に入ってしまうとすぐお友達になるので、ほかの本当のフェイストゥフェイスのお友達をつくらなくても、自分の生き方、寂しさ、人生をつくれてしまうところだけは、心配している中の最大の心配だとずっと思っています。かといって、それを解決する方法はないのだよね。親はそこまで、つきっきりで面倒見てくれる親ばかりではないのでね、今は残念ながら。心配は尽きませんね。

大野田子ども教育部長 ありがとうございます。最後に、赤羽教育長からお願いします。

赤羽教育長 やはり変わらなくてはいけないのは、先生の授業の仕方が大きく変わる、今までどおりのやり方は絶対通用しないというのはあるかなと思います。子ども一人一人が道具を持っているので、まずその使い方ですね。先に進むお子さんは、その間により深い応用の問題などもできるし、友達に説明してごらんと振ることによって、相手に伝えるときにまとめて伝えるとか。やり方はいくらでもあると思うのですが、先生の言った指示のとおりやるような授業はもう消えていくと思います。また、サポーターがつくのはとてもいいと思います。あと、オンラインも先ほど話していましたが、オンライン授業をどんどんやっても、聞きたくない子は聞きたくないし、いらぬ情報もあって。ですが、オンラインで、クラスの子どもの学級活動というか、朝の会みたいなのをやったのだそうです。そうするとどの子ども、オンラインの学級活動に顔を出して、友達の様子だとか、あいつ元気かとか、それが本来の使い方であるのかなと思います。

入ってくる以上は、機器を使える先生、それから子どもたちにもなるべく自由に使わせてやりたいので、そこをしっかりとこれからやっていきたいと考えております。以上です。

大野田子ども教育部長 ありがとうございます。時間の関係もございましたので、次に進みたいと思います。

(2) 自然博物館の今後について<非公開>

大野田子ども教育部長 (2) ですが、自然博物館の今後についてを議題といたします。この件につきましては、意思決定前の情報を扱いますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定に基づきまして、非公開にて行いたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

〔「いいです」の声あり〕

<非公開部分削除>

5 その他

大野田子ども教育部長 次にその他といたしまして、皆様から教育関係分野につきまして共通

認識しておく必要があるようなものがございましたら、お伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいですか。

事務局のほうはいかがでしょう。よろしいですか。ありがとうございました。

6 閉会

それでは、以上をもちまして本日の会議は終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

○ 午後 4 時 02 分に閉会する

以上

令和2年10月29日

署 名

市 長

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教 育 企 画 係 長
